

授業科目	社会的養護内容（CD クラス）				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH31420J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP3-2 DP5-3			
担当教員	笠 修彰							
授業概要	居住型の児童福祉施設などを利用している子どもの立場から、予想されるさまざまな場面を模擬的に設定するなどの事例を通して、具体的な子どもの生活や援助の方法について理解を深める。また、子どもの心身の成長発達を保障し援助するために必要とされる知識や技能を習得するとともに、保育専門職に求められる子ども観、社会的養護観の形成を目指す。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.社会的養護における子どもの権利擁護について理解できる。 2.施設養護及び他の社会的養護の機能や役割について具体的に理解できる。 3.個々の子どもに応じた自立支援計画・養護計画の作成と留意点について理解できる。 4.援助（基本的生活・親子関係調整・学校や地域との関係調整・自己実現等）の方法や技術、内容等について理解できる。 5.援助者としての倫理・人間性と専門性の向上に努めることを具体的に学び理解することができる。 6.社会的擁護を通して家庭支援・児童家庭福祉や地域福祉について理解や認識を深めることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	30	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10	10	15		35	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			10	10	10		30	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)			10	10	15		35	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
社会的養護が必要とされる子どもに対して保育士が援助を行うことの意義、援助者に求められる具体的な役割や技能を深く理解すると同時に、他者に正確に説明することができる。 援助を行う上で援助者に必要となる人間性や倫理観、また専門性の向上に努めることの重要性について深く理解し、それを自らも培っていこうとする態度や姿勢を持つことができる。				社会的養護が必要とされる子どもに対して保育士が援助を行うことの意義、援助者に求められる具体的な役割や技能を理解することができる。 援助を行う上で援助者に必要となる人間性や倫理観、また専門性の向上に努めることの重要性について理解することができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション(子ども人権ノート) 子どもの権利擁護と施設での暮らしについて学習し、どのような援助ができるのかを考察する。また、授業概要のオリエンテーションも行う。	講義	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	30
2	テーマ:里親による養育の実際 里親による養育事例の検討を通して、家庭養護の機能や役割等を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
3	テーマ:思春期の養護を要する子供の生活の実際 ファミリーホーム、自立援助ホームでの援助の実際、高年齢児への具体的な援助技術や方法を解説し、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
4	テーマ:養護を要する乳幼児への支援の実際 乳児院での支援の事例を通して支援の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
5	テーマ:養護を要する子どもと支援の実際 児童養護施設での支援の事例を通して支援の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
6	テーマ:ひとり親家庭の子どもと支援の実際 母子生活支援施設での支援の事例を通して支援の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
7	テーマ:情緒障害のある子どもと支援の実際 情緒障害児短期治療施設での事例を通して支援の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
8	テーマ:非行行為のある子どもと支援の実際 児童自立支援施設での事例を通して、支援の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
9	テーマ:障害児入所施設と支援の実際 主に知的障害児・重症心身障害児を事例を通して、支援の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
10	テーマ:障害児通所施設の療育と支援の実際 主に知的障害児・発達障害児の事例を通して、支援の実際を学び、演習課題について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
11	テーマ:里親と専門機関とのつながり 児童相談所をはじめとする様々なネットワークの実際を学び、連携のあり方等について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
12	テーマ:施設と家族のつながり 施設と関係機関との連携、協働による子どもと家庭への支援のあり方について討議する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
13	テーマ:地域ネットワークの形成 児童相談所、各校、幼稚園、保育所、病院、福祉事務所など地域のネットワークづくりを考察する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60

14	テーマ:さまざまな職種間のチームワーク ソーシャルワーカー、心理士、家庭支援専門相談員、 看護師など他職種連携の重要性について考察する。	演習	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
15	テーマ:まとめ 本科目での学びを振り返り、総括する。	講義	復習:本科目における学習内容を振り返り、要点をまとめる。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「児童家庭福祉」「社会福祉」「社会的養護」に深く関連しています。復習しておくこと。			
テキスト	特に使用しません。適宜関連資料を配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	吉田真理編『児童の福祉を支える(演習)社会的養護内容』萌文書林 伊達悦子・辰己隆編『保育士をめざす人の社会的養護』(株)みらい その他参考図書については、授業のなかで紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	本科目は、主に演習形式で展開していくため、授業参加にあたっては自主性、主体性をもって積極的に取り組む姿勢が必要となります。 授業に臨むにあたり、予習、復習を心がけましょう。また、日頃から新聞やニュースなどに親しむことを通して、保育を取り巻く現状に実践的関心を持ちましょう。			

達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none">・レポート外提出物は授業で作成したノートです。・レポートは誤字・脱字がないか、文章の書式が正しいか、レポートとしての体裁が整っているか、参考資料・授業内容等を参照し考察を進めているか、自分なりの考察を筋道立てて展開しているかに注目して評価します。・発表については、課題の趣旨の理解および発表メンバーの協働に注目して評価します。
---------------	---